

[1] 平成27年度 事業報告

1. 全般的概況

まずは、平成28年4月に発生した熊本地震の被害により、亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますと共に、被災された皆様、そして被災地にご家族やご友人のいらっしゃる皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く、皆様に平穏な暮らしと笑顔が戻られることをお祈り申し上げます。

4月21日公表の内閣府の月例経済報告の基調判断では、一景気は、このところ弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いていると、表現を据え置いています。我がボウリング業界は相変わらず厳しい状況が続いております。

また、熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要があるととしています。

公益社団法人としてスタートを切って、丸4年が経ちました。

中里会長体制のもと、ボウリング業界の27年は、オリンピックの話題に始まりオリンピックの話題に終わる…、そんな1年でした。

中里会長が新年の挨拶で話した通り、まさに業界団体が一丸となって取り組んだ2020年東京オリンピック・パラリンピックの正式種目へ向けての活動でした。

ボウリングの正式種目を懇願する署名が100万を超えるなど、多くの国民から厚い応援をいただきましたが、業界永年の夢をかなえることはできませんでした。

多大なご支援とご協力に、改めて感謝を申し上げます。

日場協としては、中里会長が常々掲げている①新たなるスポンサーの開拓、②他業種とのタイアップ事業、③行政への積極的働きかけ…の三つの目標を引き続き推進し、強い全国組織を作り上げるため、様々な事業に取り組みました。

少しずつ新しい芽が出てきてはいますが、皆が同じ思いで前へ進むということは非常に難しく、また相手のあることでもありますのでそう簡単にはいきません。これからも、なるべく早急に皆が納得する新しい日場協の事業を立ち上げることを目標に取り組んで参ります。

会長がよくお話しされる、皆が話し合い助け合う「協調」と、接客やサービスの「競争」。今こそ皆が一つになるために、この言葉の意味することを改めて考え、新しい時代を築いていくために、ご協力を何卒よろしくお願い致します。

このような状況のなか、弊協会は昨年度定時総会時に報告の27年度事業計画に示した、次に記載の公益目的事業を中心に積極的に取り組みましたので、その成果を報告します。

ボウリング業界は相変わらず厳しい状況が続いています。皆が一つになることでこの状況を打破するためにも、日場協という全国組織の役割は何なのか、今何をしなければいけないのか…を今一度考え、役員一同努力を続けてまいります、

会員皆様のご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

2. 公益目的事業

I ボウリングを通して、スポーツへの参加意識を高める事業（公益目的事業1）

1. 日本商工会議所会頭杯争奪「第49回BPAJ全国ボウリング競技大会」の主催

●主 管 沖縄県ボウリング場協会

●期 間 平成27年6月5日（金）～7日（日）

●会 場 ・ダブルス戦、決勝戦・表彰式・閉会式 …… サラダボウル
・ダブルス戦 …… スカイレーン
・ダブルス戦 …… スポーツワールドサザンヒル
・スペシャルオリンピックスの部会場 …… 北谷ボウル
・開会式・ウェルカムレセプション …… ロワジールホテル那覇

●参加数 34都道府県 合計 173チーム（346名）

2. 第49回BPAJ全国ボウリング競技大会「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」

●経済産業省及び公益財団法人日本生産性本部の後援で実施された、「11.22いい夫婦の日・第18回キャンペーン」に参画し、全国の加盟センターで「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」を実施した。

・参加センター 209 ・2,802チーム（5,604人）

3. 「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ

●2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて開催都市が追加実施種目を推薦できるとの項目がある五輪改革案「アジェンダ2020」を、26年12月8日に国際オリンピック委員会（IOC）が承認したことを受け、JBCが総力を挙げて運動を展開、日本ボウリング場協会を含めた業界全体が協力体制を布き、27年度も引き続きボウリング競技実施推薦に関する署名活動を行なった。

その結果、署名が6月末の時点で100万筆を突破した…とJBCより発表された。

●ボウリングのオリンピック追加正式種目に向け、業界が一丸となって活動していくために、業界8団体で「2020東京オリンピック・パラリンピック ボウリング競技組織委員会」を結成し、27年度は下記の日程で委員会を開催した。

・27年4月27日、5月27日、6月26日、7月24日、8月27日、
9月29日、11月24日

●また、各団体の事務局で構成された「2020東京オリンピック・パラリンピック ボウリング競技実行委員会」を立ち上げ、4月23日に実行委員会を開催した。

●メディアに対してのPR活動費を確保するために、JBCが「ボウリングの夢」ピンバッジを制作し、日場協を含めた各団体がこの販売に協力をした。

●JBCが主催し、在東京参加国大使館、外務省、文部科学省、（公財）日本体育協会、（公財）日本オリンピック委員会、東京都、（公財）東京都体育協会等の後援、（株）ラウンドワンの特別協賛により、27年7月9日～12日に、ワールドボウリングツアー メジャー BOWLING WORLD OPEN -Bowling To the Olympics-を開催。

最終日の決勝は、千葉県・幕張メッセに特設レーンを設営して行われた。

日場協も出場選手の募集、観戦チケットの販売に協力をした。

また、大会の盛り上げや来場者へのサービスのため、人気女子プロボウラー21名にご協力をいただき、会場においてサイン会を実施した。

※6月22日の2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会で追加種目検討会議が行われ、ボウリングは二次選考の8団体に残ったが、9月28日に発表された最終追加種目には選ばれなかった。

II 日本ボウリング史料館の設置・運営事業（公益目的事業2）

書籍に関しては、事務局が入居している東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル3階の一角にコーナーを設け、引き続き運営を行っているが、その他のグッズ等展示品については、御殿場パークレーンズ（静岡県駿東郡東田中1066-1 FUJISPOビル3F）より、アオキグランドボール（埼玉県川口市中青木3-8-17）内に移転。展示スペースをご提供いただき、現在に至っている。

一般入場者及びマスメディア関係者の取材に対応し、それが数々のボウリングの露出に繋がっている。

III 児童の健全育成事業（公益目的事業3）

児童が友達とのコミュニケーションを深め、児童が家族との絆を強めるスポーツであるボウリングを通して、児童にスポーツの楽しさを実感できるようにするとともに、かつ児童に安全な時間と場所を提供することを目的とする活動を行った。

1. 「ジュニアボウリング教室」の主催

(1) BPAJ・JPBA共催

「2015年 夏休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 2015年7月19日（日）～8月31日（月）：夏休み期間中
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jr ワッペン
・チラシ（HPにアップ）
- 全国の142センターで開催された。

(2) BPAJ・JPBA共催

「2015年 冬休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 主 管 公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 冬休み期間中
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールをJPBAより送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ (HPにアップ)
- 全国の42センターで開催された。

(3) BPAJ・JPBA共催「2016年 春休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 後 援 スポーツ庁
- 期 間 春休み期間中 (平成28年3月21日～4月12日)
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
・チラシ (HPにアップ)
- 全国の43センターで開催された。

2. ジュニア開放レーンの推進

比較的お客様の少ない夕方などの時間帯をジュニア等に開放、及び幼稚園児の体験ボウリングを実施し、子ども達にスポーツの楽しさと安全な時間と場所を提供した。

この指導者として、競技者団体所属のボウラーの皆さんにボランティアで協力をお願いした。

3. 「ミニ・ボウリング機」の普及

当協会が所有するミニ・ボウリングの機器を、当協会加盟のボウリングセンターのみならず、地域が行うチャリティ等の公益目的活動について無償で貸し出しているが、今年度はその実施はされなかった。

4. 「こども110番のボウリング場」の推進

各都道府県単位で地元行政や警察と連携して、「こども110番のボウリング場」を推進している。

IV. 福祉活動事業（公益目的事業4）

1. 「第49回 宮様チャリティーボウリング大会」の主催

- 主 管 関東ボウリング場協会
- 協 力 社会福祉法人友愛十字会
- 期 間 平成27年11月28日（土）～29日（日）
- 会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター（東京）
- 参加数 男子 254名、女子 113名、障害者男子 101名、
障害者女子 25名 <合計493名>
- 成 績 一般男子 優勝 相田 祐樹（山形・山形ファミリーボウル）
一般女子 優勝 渡邊 美和（福岡・小嶺シティボウル）
障害者男子優勝 菅野 孝彦（一般）
障害者女子優勝 佐藤 幸子（千葉・千葉県身体障害者福祉協会）

2. 「AED（自動体外式除細動器）」設置の推進

「全国JPBAジュニアボウリング教室」の開催時に「AED（自動体外式除細動器）」設置状況のアンケートを取り、現状把握をした。

- 「AED（自動体外式除細動器）」設置センター：84センター

3. 幼児、高齢者、障害者への「簡易ボウリングキット」寄贈・貸し出し

幼児、高齢者、障害者等の誰でもが簡単にボウリングを通じてスポーツに親しむことができるよう、軽量のピンとボールの「簡易キット」を購入し、無償で提供・貸与する事業。

- 「簡易ボウリングキット」5セットを購入し、関東（3）、北陸（1）、関西（1）の各都道府県場協会へ提供し、有意義に活用されている。
- 「ねんりんピック山口 2015」のイベント会場：山口きらら博記念公園の経済産業省ブースにミニボウリングを貸し出し、来場者にスポーツを体験していただくコーナーに設置協力した。

4. 「メタボリックシンドローム対策」推進事業

メタボリックシンドロームが様々な生活習慣病の要因となっている。この改善には適度な運動が重要であり、ボウリングを通じてメタボリックシンドロームの改善を図るよう啓発活動を行った。

- ・「メタボリック啓発ポスター」（2015 イメージポスター：B全・B3 2種類）を制作し、会員センターへ各2枚宛配布した。

V. 高齢者福祉活動事業（公益目的事業5）

高齢化社会が急速に進展する現在、高齢者の健康増進、身体機能の強化は社会の極めて重要な課題であり、高齢者の運動能力を向上させるために、スポーツへの参加意識を高めることを目的とした活動を行った。

1. 長寿ボウラー番付の発表

平成8年度より実施している「長寿ボウラー番付」は、日場協の高齢者福祉活動事業の一環として実施されており、その回数も今年で20回目を数えた。

BPAJ・NEWSを通じ全加盟センターよりの報告（男性：80歳以上・2,012名、女性：75歳以上・2,901名の計4,913名。夫婦：合計150歳以上、393組・786名）と、更にポスター掲載のキャッチフレーズも募集し、それぞれ多数の応募をいただき発表した。

また、警察庁・都道府県警察の「振り込め詐欺撲滅対策」への協力として、引き続き「ポスター」に「標語」の掲載をした。

- (1) 番付ポスターを制作し、全加盟センターへ男性編・女性編各2枚及び夫婦編2枚を配布した。
- (2) 全国のマス・コミにリリース資料を配布し、長寿ボウラー番付の広報に努めた。
媒体で取り上げられた情報は、各センターより日場協に情報提供された。
「長寿社会化現象」にマッチしたものとして、マスメディアのみならず、あらゆる業界から注目を集め、ボウリングは「健康スポーツ」「生涯スポーツ」として、その地位を不動のものとしている。
- (3) 番付に掲載された全「長寿ボウラー」に「番付ポスター」と「認定証」を、また番付上位ボウラーには記念品（協賛：日清製粉グループ）を、所属の加盟センターを通じ贈呈した。
- (4) 希望者に「公式ユニフォーム」と「公式ワッペン」を有償頒布した。
- (5) 満80歳以上の長寿ボウラーを対象とした「全国長寿ボウラーボウリング大会オーバー80's・90's」を主催した。
 - 主 管 関東ボウリング場協会
 - 会 場 アイビーボウル向島（東京都墨田区）
 - 開 催 日 平成27年9月19日（土）
 - 参 加 者 90歳以上：9名 80歳以上：48名
 - 優 勝 者 90歳代の部：奥谷賢一郎、 80歳代の部：飯島 一一

2. 「ねんりんピック」ボウリング交流大会への協賛

(1) 「第28回 ねんりんピックおいでませ！山口 2015」

- 主 催 厚生労働省・山口県・(一財)長寿社会開発センター
ねんりんピックおいでませ！山口 2015実行委員会・
下関市・ねんりんピックおいでませ！山口 2015下関実行委員会
- 後 援 公益財団法人全日本ボウリング協会
公益社団法人日本ボウリング場協会
全国ボウリング公認競技場協議会
- 会 場 下関ロイヤルボウル（山口県下関市）
- 期 間 平成27年10月17日（土）～20日（火）
- 参加者 男子：95名 女子：37名 計132名 参加都道府県数：34

3. ボウリングを通じての高齢者の運動能力向上に関する普及啓発

ボウリングは、高齢者の運動能力を高めることが医学的に証明されており、高齢化社会が急速に進展する現在、スポーツを通じての健康づくりを進めるとともに、予防医学の見地からも高齢者の運動能力向上に高い効果が認められ、国民の最も身近なスポーツであるボウリングを、高齢者に普及させる活動を行った。

VI. ボウリング関係団体の公益目的活動への参加と支援事業（公益目的事業6）

ボウリングに関係する団体は、それぞれが公益を目的とした活動を実施しており、当協会はその関係団体を実施する公益目的事業のうち、当協会活動の趣旨に適合する事業であり、下記関係団体が実施する事業に積極的に参加し支援した。

下記関連団体が実施する事業に支援。

- ・日本ボウリング評議会（BCJ） … 事業休止中のため、支援しなかった。
- ・公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）
- ・日本ボウラーズ連盟（NBF）
- ・全国実業団ボウリング連盟（ABBF）
- ・ジャパンレディースボウリングクラブ（JLBC）
- ・公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（S.O. 日本）

3. その他の事業（相互扶助事業）

VII. その他の事業（相互扶助事業）（その他事業1）

1. 全国ネット・テレビ放映の実現

全国ネットのテレビ放送でボウリング競技会等を放映し、広く国民がスポーツを通じてその楽しさを享受し、健康促進及び豊かな人間性の涵養に寄与するようボウリングに関する広報を行った。

2. 「ボウリングの日キャンペーン」の実施

(1) 江崎グリコ(株)との共同主催により、テーマ「ボウリングが家族を笑顔に！3世代で遊ボウリング！」をテーマに「プレゼント・キャンペーン」を全国の加盟センターで実施。

①キッズ対象 … 来場の小学生以下のジュニアに「ボウリングの日オリジナルデザイン・プリッツ」をプレゼント（先着120名）

②全体対象 … 2ゲーム以上プレーされた方を対象に、ハズレクジ無しの「限定くじ引き」（先着370名）

●ストライク賞…「ボウリングの日オリジナルデザイン・グリコお菓子セット」20名

●参加賞 … 「ミニクリアファイル」370名

(2) 「小学生以下のジュニア無料キャンペーン」

6月22日（月）・ボウリングの日は、小学生以下のジュニアをオープンから17:00の間、最低2ゲームまで無料とした。

ただし、時間帯もゲーム数も企業、センター、場協会の判断で任意にて実施。

できるだけ多くのセンター（限りなく100%に近いセンター）で実施していただき、「6.22はボウリング場に子どもの笑顔が溢れる」ことを目標とした。

4. 管理部門

VIII. 管理部門

1. 会員の動向

新法人として会員体制の変更、会費の低減化及び役員組織強化努力により、加盟率は60%に達し、維持を続けている。

(1) 会員企業数、会員センター数・レーン数及び加盟率

	26年度期末 (平成27年3月31日)	27年度期末 (平成28年3月31日)
会員企業数	269 社	266 社

区 分	26年度末 (平成27年3月31日)		27年度末 (平成28年3月31日)	
	センター数	レーン数	センター数	レーン数
加 盟	527	17,004	517	16,716
未 加 盟 (内付帯施設など)	317 (17)	7,579 (109)	304 (16)	7,149 (100)
合 計	844	24,583	821	23,865
加 盟 率	63.7%	69.3%	64.2%	70.3%

【注】加盟率は、付帯施設（公共施設及び9レーン以下のセンター）を除き算出した。

(2) 平成28年3月31日現在の賛助会員数 … 8社

2. 総会の開催

(1) 「第4回 定時総会」

- 日 時 平成27年6月6日（土）・午前9時～正午
 - 場 所 ロワジールホテル那覇 3F・「天妃の間」
 - 議 事 第一号議案 平成26年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について
報 告 平成27年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資
の件込みを記載した書類の報告について
第二号議案 理事の一部選任について
- ◆ 議案は、全て原案どおり可決承認された。

3. 理事会の開催

- (1) 第22回 理事会 平成27年 4月21日（火） 於 日場協内・会議室
- (2) 第23回 " " 6月 5日（金） 於 ロワジールホテル那覇「北殿の間」
- (3) 第24回 " " 6月 6日（土） 於 ロワジールホテル那覇「天妃の間」
- (4) 第25回 " " 6月 7日（日） 於 ロワジールホテル那覇「北殿の間」
- (5) 第26回 " " 9月10日（木） 於 日場協内・会議室
- (6) 第27回 " " 11月28日（土） 於 TKP品川カンファレンスセンター・5F「ミーティングルーム5」
- (7) 第28回 " 平成28年 1月20日（水） 於 品川プリンスホテル・メインタワー・3F「ハイビスカス・あじさい」

4. 拡大三役会議の開催

- (1) 平成27年 4月14日(火) 於 日場協・会議室
- (2) " 10月 2日(金) 於 "
- (3) 28年 1月 7日(木) 於 "
- (4) " 2月26日(金) 於 "

5. 拡大基本問題委員会の開催

- (1) 平成28年 1月 7日(木) 於 日場協・会議室

6. 事業委員会の開催

- (1) 平成27年 7月14日(火) 於 日場協・会議室
- (2) " 10月29日(木) 於 "
- (3) 平成28年 3月 2日(水) 於 "

7. 平成28年・賀詞交歓会の開催

日本ボウリング場事業協同組合との共催で、下記の通り開催した。

- 日 時 平成28年1月20日(水)・午後5時～7時
- 場 所 品川プリンスホテル・アネックスタワー5F 「プリンスホール」
- 出席者 約250名

8. 日場協における役員人事

- (1) 理事1名の辞任があり、「第4回 定時総会」(27年6月6日)に於いて、次の通り後任理事の選任についての提案をし、承認された。

理事候補者	推 薦 地区場協会	場協会	所 属 (役職名)	備 考
いしはら きみえ 石原 君江	関 西	大 阪	パレ・フタバ(株) (経営企画室 室長)	辞任された 森田良江理事(関 西・大阪)の後任

9. 日本ボウリング評議会（略称：BCJ）における活動

わが国ボウリング業界全団体の団結を目指し、相互の理解を深め、業界全体の連絡協議機関としての役割を果たすことで、ボウリングの普及・振興を図るため、平成18年10月1日付で発足したこのBCJの活動に参画した。

23年12月の「第22回理事会」にて、諸事情によりボウリング界発展のためという大局的考えを尊重しながら、評議会の組織は残し当分の間事業を休止することが決議され、今日に至っている。

10. ボウリング友好会（略称：BFC）の活動

NBF及びABBF両団体の設立の経緯に鑑み、今後の友好関係の維持及びより一層の発展を目指し、NBF・ABBF・BPAJで平成19年4月より新しいグループとして「BFC」を結成し、活動している。

〔目的〕

- ・「ボウラーの開発」を第一義に推進する。
- ・BPAJ非加盟センターの加盟を推進していく。
- ・ボウリング振興の事業を実施する。
- ・上記3項目の目的達成のため、三者の対話の機会をより多く持つこととする。

(1) 「BFC定例会議」の開催

①平成27年 6月22日（火）・午後2時～ 於 日場協・会議室

② " 11月10日（火）・午後2時～ 於 "

※日場協からは、岡田専務理事・事務局長が出席した。

11. 各団体との懇談会、他の開催

(1) 「NBFとの打ち合わせ会議」

①平成27年4月3日（金）・午後2時～ 於 日場協・会議室

※日場協からは、中里会長、石川総務委員長、安原事業委員長が出席

(2) 「ボウラー団体との打ち合わせ会議」

①平成27年4月27日（木）・午後～ 於 日場協・会議室

※日場協からは、中里会長、藤元副会長、黒川副会長、岡田専務理事・事務局長、米須基本問題委員長が出席

(3) 「NBF・白石理事長との懇談会」

①平成28年3月4日(金)・午後4時～ 於 日場協・会議室

※日場協からは、中里会長、池田顧問、岡田専務理事・事務局長が出席

(4) 「日本プロボウリング協会との合同会議」

①平成28年3月15日(火)・午後4時半～ 於 東京ポートボウル・会議室

※日場協からは、藤元副会長、黒川副会長、岡田専務理事・事務局長、安原事業委員長が出席

(5) 「グローバル関東」打ち合わせ会議

ボウリングの発展に向け、ボウリング界が一体となり立ち上げた「グローバル関東ボウリングトーナメント」の開催について、打ち合わせをすすめた。

①平成27年 4月27日(月)・午後4時 ～ 於 日場協・会議室

② " 5月22日(金)・午後4時 ～ 於 "

③ " 6月19日(金)・午後4時 ～ 於 "

④ " 7月23日(木)・午後4時 ～ 於 "

⑤ " 8月24日(月)・午後4時 ～ 於 "

⑥ " 10月27日(火)・午後4時 ～ 於 "

⑦ " 11月30日(火)・午後4時 ～ 於 "

⑧ " 12月22日(火)・午後4時 ～ 於 "

⑨平成28年 1月12日(火)・午後4時 ～ 於 "

⑩ " 2月23日(月)・午後4時 ～ 於 "

※日場協からは、岡田専務理事・事務局長が出席

● 「2015 グローバル関東ボウリングトーナメント」の開催

9月13日(日)・午後4時 ～ 於 品川プリンスホテルボウリングセンター

12. ボウリング発祥記念碑の維持管理

日場協が任意団体から通算して創立25周年を期し、後世へこの史実を伝えていくため、平成2年6月22日に「ボウリング発祥記念碑」を長崎市内に建立し、長崎県ボウリング場協会へその維持管理をお願いしている。

また、15年6月22日の“ボウリングの日”には、「社団法人化30周年」記念事業の一環として、「案内板及び柵」の設置・整備も行なった。

- ・ 建立場所 長崎市所有「長崎市松が枝町駐車場」
- ・ 借地面積 6.6平方メートル
- ・ 使用契約 長崎市から1年間の土地使用許可を得、以後自動更新されている。

1 3. 表彰規程による表彰の実施

(1) 第6条5号・永年勤続賞の贈呈

・10年勤続者	11名	・20年勤続者	7名
・30年勤続者	2名	・40年勤続者	1名

<合計 21名>

1 4. 日本ボウリング場厚生年金基金について

厚生年金法により、旧厚生省から平成7年4月1日付で認可され「日本ボウリング場厚生年金基金」が設立したが、平成28年3月28日付をもって解散。

尚、加入状況は、次のとおりである。

・発足時加入状況	114事業所	3,401名
・平成28年3月28日現在加入状況	63事業所	11,738名

1 5. その他の組織団体への加盟・協調

(1) 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

多種多様なスポーツ・健康関係団体が加盟しており、協調や情報交換等を行っている。特に、スポーツ界全体の振興策や税制等について、他の会員団体と共同で調査・研究している。

尚、弊協会中野啓二郎顧問は名誉副会長を、また中里会長は理事を務めている。

<加盟団体数> 31団体

(2) 東京商工会議所

- ・ボウリング業界の更なる発展のため、平成8年11月に新規入会した。
- ・BPAJ全国大会は、日本商工会議所の「後援」をいただくと共に、第32回大会（平成9年度）以降「日本商工会議所会頭杯争奪」と銘打ち開催されている。
- ・日本商工会議所・会頭である 三村 明夫 氏 に、前任の 岡村 正 氏 に引き続き26年2月より、弊協会の名誉会長を委嘱している。

(3) 「Save the Children」へチャリティ募金の寄託

子供達のための民間の海外援助団体「Save the Children」のチャリティ募金箱を、引き続き会員センターに設置していただき、来場のお客様に募金の協力をお願いした。